

2019年度（平成31年度）事業報告

<基本方針>

次のことを重点に取組みを進めている。

- ・ 釧路根室圏地域（以下、地域と記載）における総合的な産業支援施策を展開し、地場産業の高度化、新産業の創出、販路拡大を図る。
- ・ 地域の基幹産業である一次産業や食関連産業が抱える課題やその一つである鮮度保持技術や食関連機械技術の高度化の取組みや生産性向上が期待される活用技術（IoT、ロボティクス等）を重点課題とし、技術開発や事業化に向けた取組みを積極的に進める。
- ・ ものづくりに関する技術力と、地域内外のネットワークの強化を行い、地域を支える産業人材の育成とあわせて、ものづくり力向上に向けた取組みを進める。

<公益目的事業>

公1 地域産業技術振興事業

「釧路工業技術センター」の施設を活用しながら、釧路根室地域のものづくり企業等の技術力高度化の推進を図るため、下記事業を行っている。

1. 試験研究

地域ニーズに対応した試験研究を行い、成果普及による新事業創出等の推進を行っている。

(1) 食分野（酪農装置、食品加工装置等）：4件

- ① 刺し網仕立て作業補助装置の開発（水産）
- ② 水産加工機械の刃物に関する研究（水産）
- ③ 業務用包丁刃先角測定器の開発（食品）
- ④ 牡蠣の簡易選別システムの検討（水産）

(2) 環境エネルギー分野（自然エネルギー活用技術等）：2件

- ① バイオガス発電の調査研究（エネルギー）
- ② 熱エネルギー回収、移送に係る基礎実験（エネルギー）

(3) その他：4件

- ① 地域木材の有効活用検討
- ② CAD及びSCANによる3Dデータの活用検討
- ③ 工場の生産工程見える化技術に係る調査研究
- ④ 動物性油脂の成分分析

2. 技術指導

技術課題解決を図るための技術相談、企業訪問による地域の抱える課題の掘り起こし等を行っている。

(1) 技術相談・支援件数：延べ1,002件

	H31	H30	H29	H28	H27
技術相談・支援	1,002	840	979	1,267	1,261

- ① 相談区分別（技術分野別）：機械金属378件、木工199件、情報通信76件、電気電子24件、化学73件、塗装15件、エネルギー16件、食品40件、CAD/CAM48件、その他（技術）133件

- ② 相談区分別（産業分野別）：環境エネルギー44件、建築71件、農業26件、水産163件、食品87件、福祉6件、林業15件、情報通信業65件、学術・技術業10件、その他（産業）515件
- ③ 業種別：製造451件、建設21件、卸売・小売78件、サービス130件、木製品77件、農林水産9件、情報通信機器50件、学術研究18件、行政65件、その他（業種）103件
- ④ 地域別：釧路市744件、釧路町38件、厚岸町14件、浜中町34件、標茶町3件、弟子屈町8件、鶴居村7件、白糠町22件、根室市21件、別海町8件、中標津町43件、標津町4件、羅臼町12件、十勝管内3件、網走管内4件、道内29件、道外8件

(2) 企業訪問活動による情報収集

- ①企業ニーズ把握等のため、延べ1,032件訪問

(3) その他

- ①知的財産の総合窓口である釧路サテライトの運営支援を実施した。(利用実績：16件)
- ②釧路工業高校のインターンシップ受け入れを実施した。
- ③ JICA草の根技術協力事業（地域経済活性化特別枠）への協力
「ダナン市における水産物バリューチェーンモデル構築プロジェクト」

3. 情報提供

地域企業が必要とする最新技術情報の収集を行い、広く地域へ情報提供している。

(1) 産業技術に関する資料等の情報の収集、整備と情報誌の発行

各種展示会、公設試の成果発表会、各種研究会へ参加し情報収集した。(17先)

- ① 各種展示会等（4先）
- ② 各種研究会、セミナー等（13先）

(2) 当財団の「研究開発」「事業化支援」等の取り組みや事業成果を広く普及することを目的に、成果報告会を開催した。

開催日：令和元年6月10日

内容：「IoT (Internet Of Things) 関連の取り組み」	間瀬 秀樹
「3DCAD を活用した取り組み」	藤井 優
「食品加工機械に関連した取り組み」	日戸 光輝
「木工関連の取り組み」	瀧本 文一

参加者：40名

場 所：釧路工業技術センター2階会議室

(3) 情報誌を2回発行し、賛助会員及び関係機関に配布した。

(4) ホームページにて、情報を随時発信した。

4. 人材育成事業

技術力向上や企業経営に関する講習会等の実施を行った。

(1) 自主研修事業（関連機関等との共催、後援等で実施した。）(3件)

- ① IT企業のBCP

②工場向けワイヤレスIoT講習会

③『標準化セミナーin釧路』

5. 産学官連携及び人的ネットワーク構築

新事業創出等に有効な連携等の構築推進を行っている。

(1) 産学共同研究の促進（1件）

・牡蠣の簡易選別システムの検討

(2) 異業種交流（研究会・協議会等）団体等への支援（18先）

①センターが事務局を担当

ア. 釧路ITクラスター推進協会に参画

イ. 釧路市IoT推進ラボに参画

ウ. 釧路自然エネルギー等活用研究会に参画

エ. 釧路根室地域鮮度保持技術開発拠点プロジェクトに参画

②産業クラスター創造研究会等

ア. 釧路産業クラスター創造研究会事業との連携

イ. 根室産業クラスター創造研究会との連携

③地域の取り組み（自治体等）

ア. 釧路森林資源活用円卓会議に参加（釧路市主催）

イ. くしろ地域エネルギー地産地消ネットワークに参加（釧路総合振興局主催）

ウ. NoMaps釧路・根室に参加

エ. くしろI.Cityクラブ推進協議会に参加

オ. 釧路事業承継サポートネットワーク会議へ参加（北海道中小企業総合支援センター）

④地域の取り組み（民間等）

ア. 釧路鉄工協会青年部に参加

イ. 釧路市異業種交流プラザに参加

ウ. 釧路食糧基地構想協議会に参加

エ. 地域中小企業支援ネットワーク会議に参加（釧路商工会議所主催）

オ. 釧路地域創業支援ネットワークに参加（釧路商工会議所主催）

カ. なかしべつ循環型社会づくり推進協議会に参加

キ. 水素エネルギー研究会に参画

(3) 試験研究機関、産業支援機関のネットワーク構築：26先

①地域のネットワーク

ア. 釧路工業高等専門学校との研究交流会を実施

イ. 道総研釧路水産試験場と情報交換を実施

ウ. 釧路市水産加工振興センターと情報交換を実施

エ. 標津町ふれあい加工体験センターと情報交換を実施

②全道のネットワーク

ア. 道総研工業試験場技術派遣制度の活用（2件／15日間）

イ. 北のモノづくりネットワーク会議へ参加（道総研工業試験場主催）

ウ. 産業技術連携推進会議北海道地域部会へ参加（産業技術総合研究所北海道センター）

エ. 水産機械研究会へ参加（産技連北海道地域部会関連）

オ. 北海道技術振興連絡協議会へ参加（ノーステック財団主催）

カ. 北海道インキュベーションマネージャー連携促進会へ参加

- キ. 北海道の水産加工振興に係わる連絡会議へ参加（道総研中央水産試験場主催）
- ク. ほっかいどう地域プラットフォームへ参加（北海道中小企業総合支援センター主催）
- ケ. 北海道ITコーディネータ協議会へ参加
- コ. 北海道地域産業技術連携推進会議へ参加（北海道経済産業局主催）
- サ. ものづくり技術支援ネットワーク会議へ参加（北海道経済部主催）

③その他のネットワーク

- ア. 「標準化活用支援パートナーシップ制度」パートナー機関として登録（日本規格協会主催）

④各種委員等の委嘱：10件

- ア. 釧路産炭地域総合発展機構 審査委員会委員
- イ. 釧路高専地域振興協力会 副幹事長
- ウ. 釧路信金地域貢献助成制度（新技術）審査員
- エ. 釧路産業クラスター創造研究会 副会長
- オ. 釧路森林資源活用円卓会議 副座長
- カ. 釧路市地球温暖化対策地域推進計画検討委員会委員（釧路市）
- キ. 釧路高専専攻科学生特別研究発表会選考委員（釧路高専地域振興協会）
- ク. 北海道インキュベーションマネージャー連携促進会運営委員
- ケ. 産業技術連携推進会議北海道地域部会合同分科会講師（産業技術連携推進会議北海道地域部会、国立研究開発法人産業技術総合研究所北海道センター主催）
- コ. No Maps 釧路・根室 実行委員会 副実行委員長（大地みらい信金他）

(4) 隣接地域との地域間連携の構築

- ・北海道インキュベーションマネージャー連携促進会へ参加し、相互の取り組みの情報交換を行い、北見、十勝地区の産業支援機関等と連携を深めた。

6. 検査分析

企業からの依頼に基づき、分析・検査・計測等を行っている。

依頼試験件数：133件

	H31	H30	H29	H28	H27
依頼試験	133	163	249	83	132

主な依頼試験：材料圧縮試験41件、材料引張、曲げ試験18件

7. 「釧路工業技術センター」の管理運営

施設の管理・運営、機器等の貸出等を行っている。

(1) 機械機器使用件数：668件/95日間/1,200時間

	H31	H30	H29	H28	H27
機械機器使用	668	610	584	649	677

主な機械機器使用：

- レーザー彫刻機237件、CAD・CAMシステム143件、
- 炭酸ガスレーザー加工機76件、旋盤39件、交流アーク溶接機32件、電磁膜厚計29件、
- 液晶プロジェクタ17件、5軸制御NCルーター11件、
- 液体クロマトグラフィー一式11件、炭酸ガス溶接機10件

(2) 会議室等利用状況：383件、7,009名

	H31	H30	H29	H28	H27
会議室等	7,009	7,623	6,586	7,058	7,148

(3) センターの視察状況（11件、合計67名）

公2 地域産業支援事業

地域企業のニーズに基づく新製品開発、事業化及び販路開拓や中小企業経営を支援するため、下記事業を行っている。

1. 新製品開発・事業化支援事業

新製品の開発や事業化への取組みに対し、技術的サポート等を実施。

(1) 企業の研究開発・事業化支援：40件

①食分野（酪農装置、食品加工装置等）：23件

- ア. 海水電解殺菌装置の用途開発とその普及（水産等）
- イ. 鮮魚の前処理（ししゃも等小魚3枚おろし）機械の開発（食品）
- ウ. 自動ユニ専用殻割り機の開発支援（食品）
- エ. 海外販路を視野に入れた衛生管理鮮度保持技術の開発と事業化支援（水産等）
- オ. サケ脱血装置開発の支援（水産）
- カ. 昆布漁場における雑海藻駆除機械の開発（水産）
- キ. カキ選別機の事前評価支援（水産）
- ク. 刺し網仕立て自動化（水産）
- ケ. 水産物成長促進装置開発支援（水産）
- コ. 食品製造現場の改善による生産性の向上（水産）
- サ. 船舶関連メンテナンス技術の改善を目指した取組みに関する支援（水産）
- シ. ユニの高品質化を目的とした昆布の促成栽培の研究
- ス. 製氷器の破損に係る原因調査（水産）
- セ. 海上ブイ「GPS標識」の開発（水産）
- ソ. 地域農産物を活用した酒類の開発（食品）
- タ. 洗浄装置の開発（水産・酪農）
- チ. 加工機械装置の自動化に関する技術導入と開発（水産）
- ツ. 乳温監視システムの開発支援および販路支援
- テ. 新商品開発における新製造方法を用いた菓子用型製作の支援（食品）
- ト. キクイモに含まれるイヌリンの分析の支援
- ナ. ワイン用ブドウに含まれる有機酸分析の支援
- ニ. 高鮮度保持のための装置器具開発支援
- ヌ. 魚函洗浄工程の改善の検討

②環境エネルギー分野（自然エネルギー活用技術等）：5件

- ア. CO2ミルクヒートポンプシステムの開発、及び事業化支援（エネルギー）
- イ. 省エネルギー診断の事業化支援（エネルギー）
- ウ. しいたけ廃菌床を活用したバイオマスボイラーの事業化支援（環境）
- エ. 生産工場の省エネルギー対策（エネルギー）
- オ. 汚泥再利用の検討（環境）

③その他：12件

- ア. 非接触三次元デジタイザによる製品開発支援

- イ. 釧路市IoT推進ラボの事業支援
- ウ. 新電気敷毛布（温熱コイル敷マット）の開発商品化支援
- エ. ラジコン部品の新商品開発支援
- オ. 地域木材を活用した商品開発支援
- カ. I R O N家具の商品化支援
- キ. ヘルスケア商品開発の支援（ヘルスケア）
- ク. 洗浄用薬液開発の支援（化学）
- ケ. 自社製品の輸出手続き、作業に関するサポート（化学）
- コ. N C加工技術を活用した新商品の開発支援
- サ. 個人住宅向け災害用給水タンクの開発商品化支援
- シ. 小型ロケット向けランチャーシステムの開発支援

(2) 先端技術の導入支援等による地域企業生産性向上事業（北海道補助事業、釧路市委託事業）

生産現場における生産性向上を目指した取組みについて、ユーザー側、サプライヤー側双方の立場にあった、企業ニーズや課題に対応した技術力の向上や人材の育成を関係各機関との連携体制により支援を行った。

①技術力生産性向上マネジメント事業

ア. 技術力生産性向上マネージャーによるニーズ調査等

- ・地域の食関連企業などの生産性向上ニーズや課題、ものづくり、情報通信関連企業などのサプライヤー側の技術力向上・ユーザーとしての生産性向上ニーズや課題の把握、課題解決に向けたマネジメントを行った。

(i) 技術力生産性向上マネージャーの配置

次の技術力生産性向上マネージャーを配置し、企業のニーズ、課題の把握、助言、先進情報の収集及び事業化案件の発掘等を行った。

- ・荒井 誠 ・間瀬 秀樹 ・原田 隆行 ・日戸 光輝 ・藤井 優

(ii) 企業のニーズ、課題の把握・助言等

- ・企業訪問件数：103件
- ・相談対応件数：44件

(iii) 課題解決等のために企業が必要とする先進技術情報等の収集活動

- ・各種展示会等：7先
- ・各種研究会、セミナー等：8先

(iv) 技術開発実践プロジェクトの実施：1件

- i) 水産加工企業の自動化基礎技術の開発支援

(v) その他の活動

- i) 生産性向上のための人材育成事業

- ・『生産管理自己診断システム』を活用した生産性向上のためのワークショップ

イ. 専門家等招聘による課題解決：2件延べ5名

- ・地域企業に対する先端技術等の専門家の派遣または招聘による生産性の向上等に関する課題解決に向けた支援等

(i) 技術開発プロジェクト i) 水産加工企業の自動化基礎技術の開発支援

(ii) 生産性向上のための人材育成事業

道総研ものづくり支援センターと連携して、生産性向上への取り組みを推進するため、専門家を招聘してワークショップを実施した。

(3) 相談情報ネットワーク強化事業

企業、団体からの要望により、技術力強化を目的に専門家を招聘した研修会等を開催した。

① セミナー講師派遣

i) テーマ：溶接研修会 継続

開催日：令和2年1月28日、29日

② アドバイザー派遣

実績なし

(4) 平成31年度中小企業経営支援等対策費補助金（戦略的基盤技術高度化支援事業）（北海道経済産業局）

マイクロ波による食品混入異物の検出装置及び異物除去装置の研究開発

※マイクロ波を応用した食品の異物検出装置とロボットによる異物除去装置の研究開発を行った。

事業管理機関：（公財）釧路根室圏産業技術振興センター

法認定事業者・研究等実施機関：（株）ニッコー

研究等実施機関：国立研究開発法人産業技術総合研究所

2. 開発商品等のPR及び販路拡大

地場の工業技術力を地域内外に広くPRし、販路を拡大することを目的に、地域企業とともに展示会、商談会に参加している。

(1) CEATEC2019参加（出展支援）

釧路市IoT推進ラボが支援して実証試験を行った、新通信方式であるLPWA通信を用いた子ども見守りシステムの紹介および情報発信を行った。

開催日程：令和元年10月15日～18日

開催場所：幕張メッセ

(2) くしろ木づなフェスティバルへの出展および運営支援

釧路森林資源活用円卓会議10年経過の節目として、くしろ木づなプロジェクトの活動PRと継続した木材利用の拡大を目指したイベントで、林業・木材産業関係企業・団体38のブース出展と体験イベントを行った。

開催日程：令和元年11月9日、10日

開催場所：釧路市観光国際交流センター

来場者数：4,000人

(3) WOODコレクション（モクコレ）令和元年参加（出展支援）

東京での木材利用の拡大を目指し全国の地域材を活用した木材製品展示会に道東地域の企業・団体で出展し、地域の取り組みについての情報発信を行なった。

開催日程：令和元年12月10日、11日

開催場所：東京ビッグサイト

参加企業一覧：

企業・団体名	出展内容
釧路森林資源活用円卓会議	木づなショーケース、アイヌ関連
丸善木材(株)	家具、施工例パネル
札幌ベニヤ(株)	突板商品
エステー(株)・(株)北都	釧路産トドマツ精油を使った商品

3. 中小企業経営支援事業

地域経済活力向上を目指し、中小企業向けの経営相談等を行っている。

(1) 産業支援コーディネーターの設置

地域企業の新技術、新製品開発等の取組に対して、マーケティング、企業経営等の分野から事業化支援を行った。

企業訪問：865件

相談対応：12件

<収益事業>

収1 受託事業

行政機関・企業等からの受託により、技術力高度化・新技術創出のための研究開発、産業活性化、地域企業経営基盤強化等に資する事業を行っている。

1. 行政機関・企業等からの受託試験研究調査事業

釧路工業技術センターの施設や職員の知識・技術を活用して、企業等から試験研究調査業務を受託することにより、依頼元企業等の技術の高度化を図る。

(1) 企業からの受託試験研究調査事業：4件

- ① 階段基材性能評価試験
- ② 材料性能評価試験（2回）
- ③ 流量測定